2026 年 8 月 更新

2027 年度［春学期］

セメスター語学留学生 募集要項

★目的

このプログラムは、同志社立学の精神を生かし、本学のグローバル人材育成の一環として実施するものです。急速に進む国際化時代をふまえ、学生諸姉の英語の理解力と表現力を高めるとともに、現地での生活を通して、両国相互の社会、文化、習慣などに対する理解を持つ国際感覚豊かな人材の育成を目的としています。

★募集対象

国際教養学科以外の学部の１年次生（留学時２年次生）。ただし、音楽学科演奏専攻、医療薬学科、看護学科および食物栄養科学科管理栄養士専攻の学生は、この制度参加により卒業時期が１年遅れるので注意してください。

★出願資格

現地での学習・生活に支障ない程度の英語力を有していなければなりません。これを証するため、次の①②いずれかの条件を満たしていることが必要です。

① 実用英語技能検定 2 級以上／TOEIC 450 点以上（注）／TOEIC Bridge 75 点以上（注）／TOEFL-iBT 45(バンドスコア方式の場合 3)点以上／TOEFL-ITP 450 点以上／IELTS 4.5 以上、その他民間資格のスコア等を有する者で、国際部長が認める者（ただし、出願期間前に証明書等を提示のうえ、出願期間前に受験申請をしてください）。

（注）カナダに出願する場合のみ、TOEIC は 500 点以上のスコアを有する者（TOEIC Bridge は認めていない）

② 所定の筆記試験（9 月 16 日（水）に実施）の結果、①に掲げる級またはスコアと同程度の英語力を有すると国際部長が認める者。

※TOEFL-iBT は、当該試験日のスコアのみ有効とします（MyBest™ スコアは適用しない）。

※セメスター語学留学制度は、英語運用能力の向上を主な目的に上記の級・スコアを有する者を対象としています。このため単位授与の対象は、外国語（英語）科目に限定されます。上記の級・スコアより高い英語力を有する学生、外国語（英語）科目以外の幅広い科目、専門科目での単位認定を目指す学生は、協定大学留学または認定留学制度での留学を検討してください。

★留学時期

２０２７年度春学期（本学学年暦）

★募集人数

10 名（各大学 5 名以内）

※2027 年度春学期 の【フィリピン】派遣は、先方プログラムの全体の申込者数が所定の人数に達しない場合、中止となる可能性があります。

★事前授業・事後授業など

参加者は、事前授業（3 回）、事後授業（1 回）に参加しなければなりません。事前授業の日程（予定）は次のとおりです。また、事後授業を帰国後の 10 月に行います。この他、留学期間中には月報の提出を、留学前および帰国後には TOEIC 受験を求めます。

① 11 月 4 日（水）16 時 45 分から　今出川キャンパス（予定）
② 1 月 6 日（水）16 時 45 分から　今出川キャンパス（予定）
③ 2 月下旬～3 月上旬　9 時 30 分から　今出川キャンパス（予定）

※上記のほかに、パシフィック インターナショナル アカデミー（PIA）での「サービス・ラーニング」や「コミュニティ・サービス」の選択を希望する学生に対しては、第 1 回目の事前授業後 1 週間以内にスピーキングテスト（日時は個別に対応）を実施します。

★参加費用（学生負担）

参加学生は、本学所定の学費、留学に係る費用一切（留学中の授業料・滞在費など）を負担しなければなりません。参加費用は、受講するコースにより異なりますので、各大学の「参加費用」の項（p.5-14）を参考にしてください。なお、このうち現地費用は、国際課が一旦立て替えてから、円建てで学生保証人に対して請求します（グリフィス大学のホームステイ滞在費は現地払い）。

★本学からの補助金（予定）

参加学生に対しては、以下の 1 と 2 のいずれか低い額を、補助金として支給します。

1. 留学対象学期の授業料の 2/3。ただし、「私費外国人留学生授業料減免」または文部科学省の「高等教育の修学支援新制度」による【授業料減免】の対象者は、減免後の額を補助額の上限とします。
2. 英語研修機関の授業料、サービス・ラーニングやコミュニティ・サービスに要する費用の合計額。

★ビザ・航空チケットなどの手配

留学に必要となる学生ビザや航空チケットなどは、原則として学生が個人で手配するものとします。必要な場合、国際課がビザ取得のサポート会社などを紹介します。

★海外旅行保険など

海外旅行保険、海外アシスタンス会員は、本学所定のものに加入します。保険料および会員費は、英語研修機関の授業料などと併せて、本学が保証人に対して請求します。

★単位授与

留学先教育機関の英語プログラムなどのうち、本学が認めたプログラム（サービス・ラーニング、コミュニティ・サービスプログラムを含む）を修了した場合は、本学設置科目を履修したものとして学修時間に応じて単位を授与します。ただし、本学が定める事前・事後、および留学中の指導を受け、所定の提出物を期限内に提出しなければなりません。なお、単位授与科目は、本学ウェブサイトでご確認ください（トップページ>国際交流>中・長期留学プログラム（学部）>セメスター語学留学プログラム）。

★他の留学制度への出願

セメスター語学留学制度を利用した学生は、さらに協定大学留学制度または認定留学制度を利用して海外に留学することができます。また、留学期間中に募集する協定大学留学制度に留学先から出願することも可能です。詳しくは、国際課にお尋ねください。

★JASSO 奨学金への申請

セメスター語学留学の出願者は、日本学生支援機構（JASSO）の給付型奨学金・海外留学支援制度（協定派遣）に申請することができます。但し申請に際しては、家計基準、成績要件があり、これらを満たすことが必要です。

＊＊＊　出願・学内選考について　＊＊＊

★選考スケジュール（予定）

出願時期	9 月 14 日（月）～10 月 2 日（金）17 時まで
筆記試験 【受験申込】	9 月 16 日（水）15 時から 【京田辺･今出川キャンパスで同時に実施】 ※出願資格の②に該当する者は、筆記試験を受けなければなりません。筆記試験で所定の点数に達した場合は、セメスター語学留学の出願資格を得ることになります。 ※筆記試験の受験を希望する場合は、**9 月 14 日（月）正午までに、左記 QR コードから受験申込をしてください**。
面接試験	10 月 10 日（土）10 時から【今出川キャンパス】（注）
最　終 合格発表	10 月 21 日（水）

（注）面接試験では、英語で 1 分間程度の自己紹介をしていただきます。



2026 年 8 月 更新

★出願方法

⑴下記 QR コードまたは URL のサイトより「セメスター語学留学 出願書・志望理由書」をダウンロードの上、全項目を入力。顔写真データ（背景無地）を挿入すること。挿入できない場合は、空欄のままにしておくこと。

セメスター語学留学
出願書・志望理由書

＜セメスター語学留学 出願書・志望理由書ダウンロードおよびデータ提出先＞
https://www.dwc.doshisha.ac.jp/current/international_exchange/middle_long_term_faculty/semester

⑵上記「出願書・志望理由書」を入力後、ファイル名を「春学期セメスター語学留学　学科　氏名」で保存する。

Acrobat Reader
ダウンロード(無料)

※PC で入力すること。作業には Adobe Acrobat Reader が必要です。ダウンロードはこちら（無料）。https://get.adobe.com/jp/reader/

⑶同サイトから「出願書・志望理由書」のデータ提出先へアクセスし、⑵のデータを提出。データに写真挿入できなかった場合のみ、写真データ（JPEG）も提出すること。（データ保存名：「 学科　氏名 」）

※iPhone の写真データ（HEIC）は必ず JPEG に変換してください。

⑷⑵のデータを印刷し、次欄の「★出願書類」に記載の書類と併せて、出願期間中に国際課窓口へ提出すること。

★出願書類

- セメスター語学留学 出願書（入力後に印刷したもの）
- セメスター語学留学 志望理由書（入力後に印刷したもの）
- 出願資格の①に該当する者は、所定の検定試験の成績表原本（受験時期不問）

【お問い合せ先】国際部国際課
〇京田辺キャンパス　℡：0774-65-8458　fax：0774-63-5355
EMAIL: kokusa-t@dwc.doshisha.ac.jp
〇今出川キャンパス　℡：075-251-4158　fax：075-251-4160
EMAIL: kokusa-i@dwc.doshisha.ac.jp



【アメリカ】パシフィック インターナショナル アカデミー

★英語研修機関・大学

ポートランド大学（UP: University of Portland）内の英語学校パシフィック・インターナショナル・アカデミー（PIA: Pacific International Academy）で受講します。ポートランド大学はオレゴン州最大の都市ポートランドのウィラメット川沿いにキャンパスを持つカトリック系の共学私立大学。1901 年の設立で、学生数約 3,700 人のリベラルアーツカレッジです。



★プログラム内容

最初の 1 ターム（10 週間）は、英語集中プログラム（Intensive English）を受講します。2 ターム目は、引き続き英語集中プログラムを受講（オプションとして、コミュニティ・サービスのプログラムの追加が可能）するか、サービス・ラーニングのいずれかを選択します。なお、プログラムを図示すると次のとおりです。

〇Spring Term

4 月上旬～6 月上旬

英語集中プログラム
（20h/w）

〇Summer Term

6 月中旬～9 月上旬

英語集中プログラム（20h/w）
【オプション】
・コミュニティ・サービス（Level 3 以上で選択可能）

6 月中旬～7 月下旬

サービス・ラーニング【授業 2 週間＋職務 3 週間】
（Level3 以上で選択可能）

※サービス・ラーニング、コミュニティ・サービスの特徴は以下のとおりです。

- コミュニティ・サービスまたはサービス・ラーニングのいずれを履修する場合も、一定のスピーキング力を含む英語力を有していることが必要です。このため、TOEFL-iBT/IELTS（スピーキング・セクションを含む）で筆記試験免除となる点を満たしていない場合（筆記試験合格者、もしくは TOEIC/TOEFL-ITP/実用英語技能検定による筆記試験免除者）は、第 1 回目の事前授業の翌日以降に所定の試験の受験が求められます（p. 2「事前授業・事後授業など」参照）。
- 実践的な英語に磨きをかけることを主な目的とした就業体験です（専門性を高めるための体験学習ではありません）。

・サービス・ラーニング、コミュニティ・サービスの開始前の現地事前授業では、アメリカのビジネス文化やクロスカルチャーなど、職務を効果的に進める上での必要な知識を学びます。
・サービス・ラーニング、コミュニティ・サービスでの派遣先実績は、本学ウェブサイトでご確認ください（QR コード）。
・コミュニティ・サービスは、2 ターム目に週 1～2 日行います。

★滞在方法

ホームステイ

★参加費用

３つの基本プログラムごとの参加費用を以下に示します。あくまでモデルケースですので、最初のターム（Spring Term）終了時の成績などによっては、次のターム（Summer Term）の履修内容が制限される場合があります。
また、以下に示す金額の他に、昼食代、通学費、留学期間中の本学授業料、教育充実費などが必要となります。
なお、学生ビザ（I-20）取得のためには、留学中の費用を自己資金で支弁できることが条件とされ、その証しとして銀行の残高証明が求められます。備考欄をご覧のうえ、あらかじめご了承ください。

【１】英語集中プログラムとサービス・ラーニングを履修する場合（プレイスメントテストの結果が Level3 以上で、スピーキングテストに合格した場合、選択可能）：
★Spring Term：英語集中プログラム
★Summer Term：サービス・ラーニング

現地費用	・授業料 $3,000 / Term ・キャンパス使用料 $250 / Term ・教材費 $ 200 ・ホームステイ申請費用 $390 ・ホームステイ滞在費 $2,820 ＋ $295/週 × 4（週計算、4 週間分） ・サービス・ラーニング $1,420 ・空港送迎費（往復） $ 150 合計 $9,360（$1≒172 円で換算して約 161 万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、35 万円程度必要
合　計	196 万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】ビザ取得のため、銀行口座に＄7,000（日本円で約 121 万円）以上の残高が必要。
上記費用は、2026 年度実績額をもとに算定。

【2】英語集中プログラムのみを履修する場合（プレイスメントテスト・スピーキングテストの結果不問）：

★Spring Term：英語集中プログラム

★Summer Term：英語集中プログラム

現地費用	• 授業料 $3,000 / Term（×2） • キャンパス使用料 $250 / Term（×2） • 教材費 $ 400 • ホームステイ申請費用 $390 • ホームステイ滞在費 $2,820 / Term（×2） • 空港送迎費（往復）$150 合計 $12,780（$1≒172 円で換算して約 220 万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、35 万円程度必要
合　計	255 万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】ビザ取得のため、銀行口座に$14,000（日本円で約 241 万円）以上の残高が必要。
上記費用は、2026 年度実績額をもとに算定。

【3】英語集中プログラムに加え、コミュニティ・サービスを履修する場合（プレイスメントテストの結果が Level3 以上で、スピーキングテストに合格した場合、選択可能）：

★Spring Term：英語集中プログラム

★Summer Term：英語集中プログラム＋コミュニティ・サービス

現地費用	• 授業料 $ 3,000 / Term（×2） • キャンパス使用料 $250 / Term（×2） • 教材費 $ 400 • ホームステイ申請費用 $ 390 • ホームステイ滞在費 $2,820 / Term（×2） • コミュニティ・サービス $ 750 • 空港送迎費（往復） $ 150 合計 $13,530（$1≒172 円で換算して約 233 万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、35 万円程度必要
合　計	268 万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】ビザ取得のため、銀行口座に$14,000（日本円で約 241 万円）以上の残高が必要。
上記費用は、2026 年度実績額をもとに算定。



【カナダ】マウント・アリソン大学

★英語研修機関・大学

マウント・アリソン大学（MTA: Mount Allison University）附属の語学学校で受講します。MTA はニューブランズウィック州サックビルにキャンパスを持つリベラルアーツ大学。カナダで最も歴史のある大学の一つで、質の高い教育を行っていることで知られる名門校です。1839 年の設立で、学生数約 2,300 名の共学州立大学です。



★プログラム内容

英語集中プログラム（MASSIE：Mount Allison Semester Studies in English）を 12 週間受講します。1 週 24 時間の学習が 4 週間で 1 つのタームになり、3 ターム受講します。クラスは日本の協定大学からの学生で構成されています。レベルは分かれておらず、日常的な英語の上達を目標とした一般英語中心の内容になります。また、放課後や週末には、実践的な英語を学ぶためのボランティア活動が含まれています。プログラムの最後には、英語の上達を測るため TOEIC を受験します。

〇履修コースの一例

5月上旬～8月上旬
英語集中プログラム （24/w） ・ボランティア／課外活動

★滞在方法

キャンパス内の寮（1～2 人部屋）
※寮に住んでいる MTA の学生が日常生活をサポートしてくれる。

★参加費用

参加費用の概算額は、以下のとおりです。
また、以下に示す金額の他に、留学期間中の本学授業料、教育充実費などが必要となります。

2026 年 8 月 更新

MASSIE プログラム（12 週間）の参加費用概算額：

現地費用	・授業料 CAN$ 5,312 ・寮費、食費（1 日 3 食） CAN$ 6,704 合計 CAN$ 12,016（CAN$1≒122 円で換算して約 147 万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、35 万円程度必要
合　計	182 万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】上記費用は、2026 年度概算額をもとに算定。



【オーストラリア】グリフィス大学

★英語研修機関・大学

グリフィス大学（GU: Griffith University）の部門のひとつ、GELI（Griffith English Language Institute）で受講します。GU は、オーストラリア・クイーンズランド州の州都ブリスベンおよびゴールドコーストにキャンパスを有する大学で、オーストラリア最大規模の大学のひとつです。



1871 年の設立で、学生数約 45,000 名（学部約 35,000 名、大学院約 10,000 名）の総合州立大学です。

★プログラム内容

GELI の DEP(Direct Entry Program）を 15 週間又は 20 週間受講します。1 週 25 時間（うち、5 時間は GELI の自己学習計画に基づく個別学習）の学習が 5～10 週間で 1 つの学期になります。レベルは 8 段階に分かれていて、上級レベルでは、英語圏の大学への進学準備を想定したコース内容となっており、その他のレベルでは、日常的な英語の上達を目標とした一般英語中心の内容になります。1 つの学期を修了すると、1 段階ステップアップします。
なお、通学するキャンパスは、現時点ではゴールドコーストのみとなります。

〇履修コースの一例

Griffith University degree (requiring IELTS 6.5*)

Direct Entry Program — 10 - 50 weeks

WEEKS	ENTRY SCORES			
	IELTS Academic	PTE Academic	TOEFL iBT	ISLPR
	6.5 (no sub-score <6.0)	58 (no Comm Skill <50)	79 (no sub-score <19)	3+ (all sub-scores)
10	6.0 (no sub-score <5.5)	50 (no Comm Skill <42)	71 (W 19, L,R,S 17)	W3 (2 scores 3, 1 score 2+)
20	5.5 (no sub-score <5.0, W 5.5)	42 (no Comm Skill <36, W 42)	52 (no sub-score <14, W 18)	2+ (all sub-scores)
25	5.5 (no sub-score <5.0)	42 (no Comm Skill <36)	52 (no sub-score <14)	W2+ (2 scores 2+, 1 score 2)
30	5.0 (no sub-score <4.5, W 5.0)	36 (no Comm Skill <30, W 36)	40 (no sub-score <13, W 14)	2 (all sub-scores)
35	5.0 (no sub-score <4.5)	36 (no Comm Skill <30)	40 (no sub-score <13)	W2 (2 scores 2, 1 score 1+)
40	4.5 (no sub-score <4.0, W 4.5)	30 (no Comm Skill <29, W 30)	33 (no sub-score <12, W 13)	1+ (all sub-scores)
45	4.5 (no sub-score <4.0)	30 (no Comm Skill <29)	33 (no sub-score <12)	W1+ (2 scores 1+,1 score 1)
over 45	4.0 or lower	29 or lower	32 or lower	1 or lower

Key: W = Writing, L = Listening, R = Reading, S = Speaking, < = less than, Comm Skill = Communicative Skill.
*Check the English language entry requirements for your degree at **griffith.edu.au/international-study**

上記DEPを、次の期間受講します。なお、Griffith University Degree科目を履修することはできません。

- 4月中旬から8月上旬までの15週間
- 4月中旬から9月上旬までの20週間

★滞在方法

ホームステイ

★参加費用

参加費用の概算額は、以下のとおりです。
また、以下に示す金額の他に、昼食代（平日 2 食・週末 3 食プランの場合）、通学費、留学期間中の本学授業料、教育充実費などが必要となります。

【１】15 週間履修する場合：

現地費用	・申請費用 AUS$ 230 ・授業料 [教材費含む] AUS$ 392/週（×15 週間） ・ホームステイ申請費用 AUS$ 350 ・ホームステイ滞在費 [1日3食] AUS $420/週（×15）＋ AUS $60/泊（3 泊） [平日2食・週末3食] AUS $390 / 週（×15）＋AUS $55.71 / 泊（3 泊） ・OSHC [海外留学生保険]（4 か月）AUS$ 364 合計 AUS$12,841.13 ※平日 2 食・週末 3 食プランを選択した場合 （AUS$1≒121 円で換算して約 156 万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、35 万円程度必要
合　計	191 万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】ビザ申請料 AUS$2,050(日本円で約 25 万円)が別途必要。
上記費用は、2026 年度実績額をもとに算定。
日本国籍以外の方は、授業料が異なります。

【2】20 週間履修する場合：

現地費用	・申請費用 AUS $230 ・授業料［教材費含む］AUS $392/週（×20 週間） ・ホームステイ申請費用 AUS$ 350 ・ホームステイ滞在費 ［1日3食］AUS$ 420/週（×20 週間）＋ AUS$ 60/泊（3 泊） ［平日2食・週末3食］AUS$ 390/週（×20 週間）＋ AUS$ 55.71/泊（3 泊） ・OSHC［海外留学生保険］（5 か月）AUS$ 437 合計 AUS$ 16,398.13 ※平日 2 食・週末 3 食プランを選択した場合 （AUS$1≒121 円で換算して約 204 万円）
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険・アシスタンス会員費などで、35 万円程度必要
合　計	239 万円程度（本学からの補助金額控除前）

【備考】ビザ申請料 AUS$2,050(日本円で約 25 万円)が別途必要。
上記費用は、2026 年度実績額をもとに算定。
日本国籍以外の方は、授業料が異なります。



【フィリピン】 アテネオ･デ･マニラ大学

※2027 年度春学期【フィリピン】派遣は、先方プログラムの全体の申込者数が所定の人数に達しない場合、中止となる可能性があります。

★英語研修機関・大学

アテネオ･デ･マニラ大学（ADMU: Ateneo de Manila University）の部門のひとつ、ALLC（Ateneo Language Learning Center）で受講します。ADMU は、マニラ首都圏を構成するケソンシティの文教地区に位置しています。キャンパス内は、セキュリティが厳格で治安面での心配はありません。フィリピンの大学トップ 3 の常連校です。

1859 年にカトリックのイエズス会により設立。学生数約 14,000 名（学部約 10,000 名、大学院約 4,000 名）の総合私立大学です。



★プログラム内容

ALLC の英語集中プログラム（IELP: Intensive English Language Program）を 15 週間または 20 週間受講します。1 週 24 時間の学習が 5 週間で 1 つのモジュールになり、3 または 4 モジュール受講します。レベルは 4 段階に分かれていて、上級レベルでは、英語圏の大学への進学準備を想定したコース内容となっており、その他のクラスでは、日常的な英語の上達を目標とした一般英語中心の内容になります。1 つの学期を修了すると、1 段階ステップアップします。

○履修コースの一例

英語集中プログラム（IELP）

モジュール名	開始・終了	備　考
モジュール３	４月上旬 ～ ５月上旬	
モジュール４	５月中旬 ～ ６月中旬	
モジュールA	７月上旬 ～ ８月上旬	
※モジュールB	８月中旬 ～ ９月中旬	２０週受講する場合

★滞在方法

キャンパス内の寮（2 人部屋）

★参加費用

参加費用の概算額は、以下のとおりです。また、以下に示す金額の他に、留学期間中の本学授業料、教育充実費などが必要となります。

【1】15 週間履修する場合:

現地費用	·授業料 $ 800 / Module(×3 Modules) ·寮費 PHP 190,350 (2 人部屋の場合) ·SSP, ACR-I Card fees PHP 20,000 合計 $ 2,400 + PHP 210,350 ($1≒172 円 、PHP1≒3 円で換算して約 105 万円)
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険·アシスタンス会員費などで、15 万円程度必要
合 計	120 万円程度(本学からの補助金額控除前)

【備考】上記費用は、2024 年度実績額をもとに算定。

【2】20 週間履修する場合:

現地費用	·授業料 $ 800 / Module(×4 Modules) ·寮費 PHP 253,800 (2 人部屋の場合) ·SSP, ACR-I Card fees PHP 20,000 合計 $3,200 + PHP273,800 ($1≒172 円 、PHP1≒3 円で換算して約 138 万円)
そ の 他	航空運賃、海外旅行保険·アシスタンス会員費などで、15 万円程度必要
合 計	153 万円程度(本学からの補助金額控除前)

【備考】上記費用は、2024 年度実績額をもとに算定。